

メタセコイア

学園史編纂委員会通信 第1号

2011年5月20日発行

発行責任者：池田 健夫

近江兄弟社学園学園史編纂委員会

近江兄弟社学園の姿を認識し、母校に誇りを持つこと

2011年度学園史編纂委員会開会挨拶 委員長 池田健夫

学園史資料集第Ⅰ編は、昨年度末にようやくできあがりしました。大変興味深い貴重な資料が入っており、写真だけでも説得力があります。この資料集の刊行は、今後第Ⅱ編、第Ⅲ編を発行しますが、第Ⅱ編は今年度中に刊行、第Ⅲ編は2012年8月23日の創立90周年記念式に間に合うように準備をしていただきたいと思います。90周年の記念品として、この資料集3冊を箱に入れて、参加者に配布します。なお、その後、百年史を書くことになります。

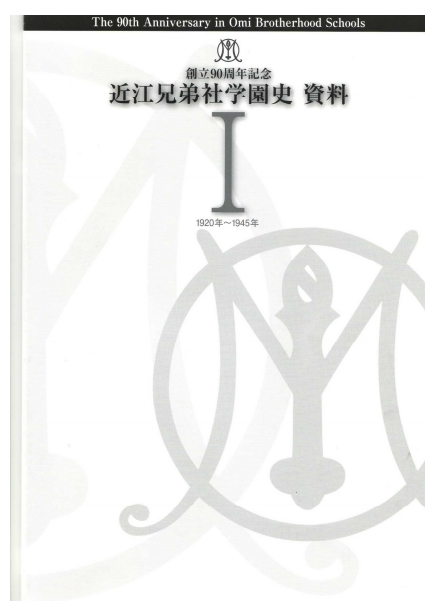
歴史を認識するということは、その歴史に基づいて事業を発展させるところに意義があるわけですから、学園史編纂事業に合わせて、近江兄弟社学園の長期計画を策定してまいります。長期計画の原案はほぼまとまりまして、今月27日の評議員会・理事会に提出し、さらに練ったうえで8月23日の創立記念式で発表することになっております。2022年（創立百周年）までの長期計画です。

これまで近江兄弟社学園は短期計画のくりかえしでここまでできましたが、ようやく長期計画を策定するところまでできました。その足がかりになったのが、この学園史編纂事業です。その学園史というものが、今ひとつ心許ない状況でした。確立した学園史というものが無かったというのがこれまでの状態でした。あったのは、何年に何があったというような年表ぐらいで、ただ一柳満喜子先生が作られたプレイグラウンド・清友園幼稚園のみが学園史の発端として位置づけられ、語りつがれてきました。それだけしか知らないという状態でした。

ですから、生徒たちも、ヴォーリズさんの名前は知っていても、その人と学園の関係を知らないという有り様でした。このあいだも、古い卒業生から小言をいただきました。高校のあるクラブの生徒をつかまえてごちそうしてあげたが、学園の歴史を何も知らなかったという小言です。ヴォーリズさんのことなど全く知らなかったそうです。それは、学園の責任だと認識しております。

一柳満喜子先生のプレイグラウンド・清友園から始まるというだけの学園史は、英語の教科書でいえば、"This is a pen."の部分だけを教えて、それ以上教えないようなものでした。学園史資料第Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ編と、それに続く百年史によって、近江兄弟社学園の姿を認識し、母校に誇りを持つことができると思います。

すでに90年を数えようとしている学園の歴史は、決して順調な歩みではなく、苦闘の連続であり、「うちわもめ」も繰り返してきました。「うちわもめ」が学園を滅ぼすことは言うまでもありません。学園史編纂により「うちわもめ」が蒸し返されることのないよう公正・客観的な編纂を期待しております。どうぞよろしく願いいたします。



学園史資料集第Ⅰ編

2011年度 学園史編纂委員会組織表

委員長	池田 健夫	委員	青木香麻利	委員	藤澤 俊樹
副委員長	道城 献一	委員	池田 健一	委員	福田 耕治
副委員長	奥 達夫	委員	池田 隆男	委員	増田ひとみ
事務局長	檜山 秋彦	委員	太田 典子	委員	三崎 清治
事務局	林 昌治	委員	押谷 美樹	委員	武藤 敬助
事務局	中西 完次	委員	小野 春男	委員	森田 一生
事務局	伊吹 章	委員	幸田 純	委員	安川 千穂
		委員	管井 恵子	委員	山中 昭美
		委員	田中 浩一	委員	脇坂 重之
		委員	辻 友子	委員	渡邊 元次
		委員	中島 薫		
		委員	永芳 和子		
		委員	馬場 啓		

敬称略、委員はアイウ順



事業計画

学園史資料Ⅱの作成について

事務局長 檜山 秋彦

学園史資料Ⅱは 1945 年(昭和 20 年)～ 1969 年(昭和 44 年)の期間を対象にする。村田幸一郎と満喜子のリーダーシップが顕在化する。「湖畔の声」の検証

1 清友園(近江兄弟社)幼稚園(檜山)

- ① 1992 年 10 月 発行 70 周年記念誌「幼稚園のあゆみ」に学び、参照しつつ、教育の意図と中身を「資料」によって紹介する。「Education」＝「導き出す」教育。「自己統制力」、自治(自主)の練習姿勢運動、手のわざ、リズム、歌、ゲーム、食事の食べ方、環境の整備
- ②それを担った教師集団について、職員構成などを検証する。

2 近江兄弟社小学校(檜山)

- ①小学校については、よりどころとなるまとまった資料はなにもない。したがって、基礎資料の発掘作業から開始する。「湖畔の声」の「近況録」などから年間行事、教職員の研修事業などを書き出し、これに関する書類、文書を検索する。写真・アルバム類を検証する

3 近江兄弟社中学校(中西)

- ①新制中学発足時の状況。5 年制の近江兄弟社女学校から中学校に編入した生徒数など。
- ②教育活動の特徴を行事活動ごとに配列する。アルバム類検証。花の日、クリスマス、英語弁論など。

4 近江兄弟社高等学校

- ①定時制部 女子青年学校の経過、定時制部の歴史は「45 年史」を参照し資料を検証する。(伊吹・林)
- ②普通高校部 アルバム類以外にはまとまった資料はない。基礎資料の発掘作業から開始する。(中西)

5 バザー・音楽会・運動会(檜山)

6 学校法人

法人運営の経過、兄弟社グループの交流、教職員の研修、親睦(伊吹・押谷)
教職員組合、労働組合、後援会、ステパノ会(伊吹・林・押谷)